

世界一を目指して

ソフトボール第5回アジア男子ジュニア選手権大会 優勝



▲優勝を飾ったアジア男子ジュニア選手権大会での写真(前列左から2番目が山本さん)

昨年12月、ソフトボールの第5回アジア男子ジュニア選手権がタイ・チャイヤブームで開催され、U-19(19歳以下)日本代表チームは予選リーグ、順位決定戦すべてでゴールド勝ちし、優勝を成し遂げました。その代表チームに選ばれ、活躍された香南市香我美町の山本明さんを紹介いたします。

山本明さん
(香我美町)



も期待されています。

将来への糧

4月からは大学へ進学が決まり「将来は小学校の先生になりたい」と語ってくれた山本さんにとって、行ってみないとわからない、海外での経験を学ぶことは、とても新鮮で有意義だったそうです。「小学校の英語教育にも活かせられたら」と将来を見据えた発言も。

世界一を目指す

世界大会では、昨年優勝したアルゼンチンや一昨年まで4連覇していたオーストラリアなど、レベルの高い強豪国がそろっているとのこと。ただし日本も昨年は2位。山本さんたち日本代表の選手には全力を發揮して日本を世界一に導いてもらいたいですね。

日本代表への挑戦

アジアの頂点を決めるソフトボール第5回アジア男子ジュニア選手権へ出場した山本さん。現在、高知農業高校へ通う3年生で、ソフトボール部のキャプテンとして活躍されています。

日本代表へメンバー入りするきっかけは、高知農業高校のソフトボール部監督であり、昨年から日本代表のコーチをされている松繁冬樹監督からの勧め。チーム内でも突出した実力を見込まれて、自ら応募し選考会へ参加。期待に見事応募、約70人の中から代表メンバー17人の1人にも選ばれました。

海外環境への対応

アジア選手権では内野手として4試合に出場し優勝に貢

次の戦いに向けて

現在は、7月にカナダ・ホワイトホースで開催される第10回世界男子ジュニア選手権大会に向けて、通常の練習に加え、ウェイトトレーニングをして筋力アップにも取り組む山本さん。「ゴムボールを使用しているのは実は日本だけ。世界では小さい頃から革ボール。そのため打球の飛距離を伸ばすためにも、今より一回り大きくなってくれば」と松繁監督から

多彩な個性と文化が花開く

香南の文化祭 「文化の祭典」

昨年から年明けにかけて、市内それぞれのまちで文化祭、芸能発表会などが開催されました。音楽や踊りなど、伝統的なものから現代の新しいものまで、世代を越えて魅了してくれたり、丁寧に作りこまれたさまざまな作品など「香南の文化力」が目白押しです。

